

第93回HSG研修会における柳田氏質問に関するエチケット委員会見解

第93回HSG研修会における柳田氏質問に関するエチケット委員会見解を記載します。

【柳田氏質問】

大みかGC4番ホールの池とネットの間にボールを打ち込み、次のショットを行おうとしたが、ネットにクラブが当たりスイングができない。
少し移動しても同じ状況だった。この場合の処置はどうすべきか。

【エチケット委員会見解】

ネットがOB杭の内側にあり境界線となっていない場合は、ネットは「動かさない障害物」であり、次の2ケースの処置が取れる。

処置（図1参照）

ケース1：① クラブがネット(動かさない障害物)に当たらない完全な救済のニアレストポイントを決める。

② ニアレストポイントから1クラブレンジ内にドロップする。

③ スタンスが池に入の場合は池に入ってボールを打つ。

ケース2：① 元のボールの位置でアンプレアブルを宣言する。

② ストロークと距離の救済(1罰打)を受け、直前に打った場所から球をプレーする。

